

式辞

桜の花も満開となり、ふくよかな風の香りを感じるこの良き日に、ご来賓の方々、保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに兵庫県立宝塚高等学校第五十七回入学式を挙行できることは、この上ない喜びであります。

ただいま入学を許可いたしました二百四十名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんを、第五十七回生として迎えられることを、在校生、教職員一同、本当に嬉しく思います。そして、今日(こんにち)まで、新入生の皆さんを支えてこられた保護者の皆様に、心よりお祝いを申しあげます。

今、皆さん的心は、入学の喜びとこれから始まる高校生活への期待に大きく胸を膨らませていることでしょう。皆さんに、今日(きょう)こうして本校の第五十七回生として入学することができた背景には、ご両親をはじめ家族の方々、小・中学校の先生方、また、皆さんを守り育ててくださった数多くの人たちの支えとご指導があったからであります。そのことは決して忘れてはなりません。高校生になるということは、物事を自分で判断し、自ら行動できるようになるということでもあります。これから三年間の高校生活を通して、様々な知識や教養を身につけ、豊かな人間性を養い、健全な心と体を備えた人間として、自らを鍛えあげていくことが必要です。こうすることが、お世話になった方々へのご恩に報いる方法であります。

さて、本校は、昭和三十八年の創立以来五十七年間にわたって、教職員や生徒達の切磋琢磨と、保護者や地域の方々のご協力とご支援のもとに、嘗々と嘗まれてきました。その基盤となっているのが、校訓の「剛健中正、誠意正心、明朗闊達」であります。校訓とは、「学校の理念や価値を、目に見える形で言葉に表したもの」です。

「剛健中正」とは、身も心も健やかであれ。「誠意正心」は、正しい心で何事にも一生懸命であれ。そして、「明朗闊達」は、何事にも前向きで明るく活発であれ。ということを意味しています。

また、本校の校章は、三つの川、武庫川、逆瀬川、仁川の互いの交わりを表しています。が、その交わりを、知性、情操、体力として、創立来、学力向上、心の健康、体の健康を目指す教育活動を展開しています。今日(こんにち)まで全日制普通科高校として、北摂地域の伝統校として、その名を連ねてまいりました。

ところで、今年は、令和元年となる記念すべき年でもあります。皆さんは、令和元年に、本校の一年生となります。これから時代は、科学技術の進化のスピ

ードがこれまで以上に加速し、私たち人間が作ったものに、私たち人間が支配されてしまうのではないかと錯覚してしまいそうです。例えば、自動車の自動運転の技術開発においては、世界中のメーカーが競い合っています。いつの日か、車の中で本を読みながら目的地に到着できる日が来るでしょう。また、ドローンによる宅配や空飛ぶ自動車などが、近い未来に現実となってくることは間違いないです。

こういう時代だからこそ、私達は、基礎・基本をしっかりと身につけ、あらゆることに適応できる能力を養わなければなりません。

本校での三年間の学びが、その礎となることと期待しております。学校設定科目におけるユニークな取り組みや、人材育成のためのプログラムの設定など、これまでと同様に今後も継続して磨きをかけているところです。

緑豊かで、のどかなこの山間で、身も心も健やかに成長し、学び続けることができる事が、本校の強みであるといつても過言ではありません。皆さんの先輩たちはここで多くのことを学び、立派な社会人として、日本のみならず、世界で大活躍されています。

皆さんは、今日（きょう）から、三年間かけて校訓の精神を培（つちか）ってほしいと思います。今日（きょう）、この記念すべき日に、皆さんは、同じスタートラインに立ちました。気持ちを新たにし、今述べたことを常に心がけ、意識して取り組んでほしいと思っています。

保護者の皆様に対しましては、心から、お子様のご入学のお祝いを申し上げます。本日 確かに、学校としてお子様をお預かりいたしました。三年後には、入学して良かったと喜んでいただけるよう、私ども教職員一同、真剣勝負で取り組んでまいります。

保護者の皆様におかれましても、本校の教育活動の推進にご理解とご協力、そして、ご支援を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

二百四十名の新入生の皆さん、今後の益々の成長と発展を心から祈念し、式辞といたします。

平成三十一年四月八日

兵庫県立宝塚高等学校長 中西 朗